

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

ASK 総選挙 2018



1月31日はゴロ合わせで1・31（あいさい）の日です。

2018年も「あいさいの日」に近い1月第4日曜日（28日）には、愛西市観光協会が主催する「あいさいフェスティバル」が開催されます。

その中で、昨年好評だった愛西市観光名所展：ASK（愛西観光資源）総選挙も実施する予定です。

2017年には、“第1回 出逢い・ふれ逢い・あいさい写真コンテスト”が実施され、コンテストとして市民

のカメラ目線を通して愛西市の魅力を再発見できたと思います。そして、応募作品228枚を分析してみると、愛西市の観光資源の実体が見えてきます。本号では、その分析結果を紹介し、ASK（愛西観光資源）総選挙2018につなげたいと思い、号外の発刊となりました。

その前に、2016年、大ヒットしたアニメ映画『君の名は』のロケ地を巡る聖地巡礼という日帰り旅が流行しています。映画『君の名は』では、飛騨市役所（図書館）が聖地として描かれ、聖地巡礼の対象となりました。写真は愛西市役所です。

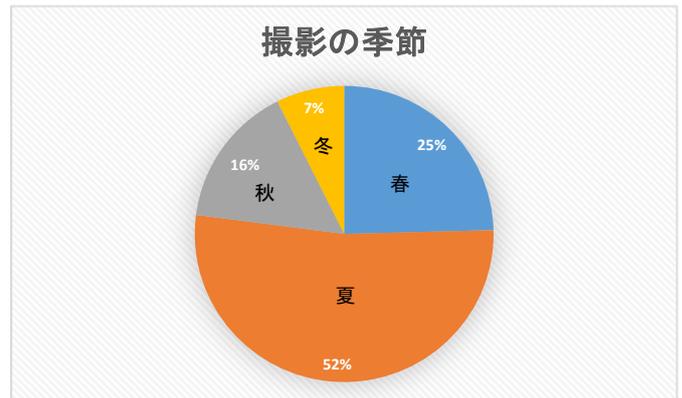
元々、古き良き日本を残している普段着の“飛騨市”には、聖地巡礼する旅人をアニメの主人公にしてしまうような“おもてなし”する暖かさがあると思いました。私が聖地へ行った時も、土産物屋の店主が親しげに話しかけてきたり、住民が田園を散策していると道案内してくれたり、それが日常のようです。

私見ではありますが、観光地に必要な要素は、旅する一日を充実できる「見る」「食べる」「遊ぶ（買う）」楽しみが地域に詰まっている事であり、観光地としての十分条件は、旅先での人々との出会い、普遍的な“おもてなし”の心にあると思います。すなわち、人々の楽しみは多様化し進化しています。今回紹介する観光名所は、あくまでも愛西市の観光資源であって、愛西市に観光地を成立させる素材であることを強調しておきます。

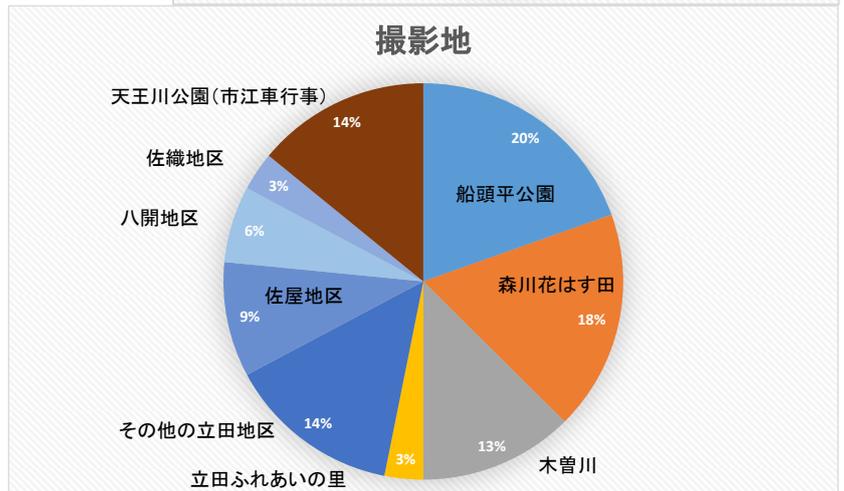
< 2頁に続く >

ASK 総選挙 2018

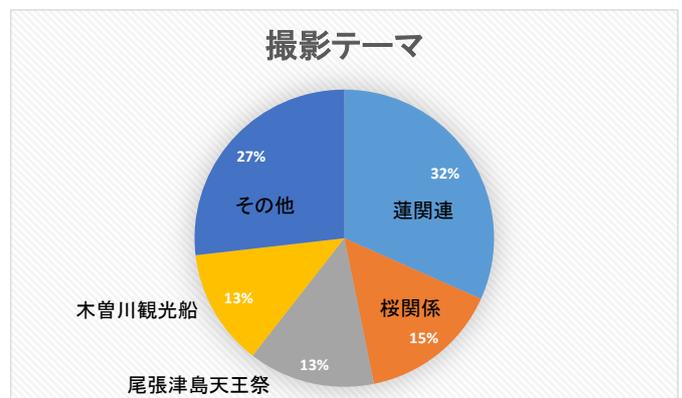
出逢い・ふれ逢い・あいさい写真コンテストの応募 128 作品（228 枚の内、同一作者は 1 作品として集計）について、分析した統計結果を紹介します。まず、撮影日（撮影の季節）を分析した結果を図に示します。募集の締め切りが 9 月末日だった影響もあると思いますが、夏季（7 月～9 月）の撮影が 52% で過半数（64 作品）であり、逆に冬季は 9 作品と少なくなりました。



次に、写真の撮影地を分析した結果を図に示します。撮影地は、多い順に、船頭平公園、森川花はす田、天王川公園（尾張津島天王祭の市江車行事）、木曾川・・・、となり偏りが現れました。すなわち、立田地区での撮影が 66%（85 作品）だった一方、八開地区での撮影は 8 作品、佐織地区での撮影は 4 作品でした。



最後に、写真の対象として多かったテーマは、蓮関係（蓮見の会、花蓮・蓮根の収穫など、春夏秋冬の風景を含む）、桜の名所、尾張津島天王祭、木曾川観光船関連、その他、の順となりました。蓮（32%）は予想通りでしたが、桜の名所に関する枚数の多さに注目されます。その他には、愛西市各地の祭（納涼祭、秋まつり、商工まつりなどを含む）、木曾川周辺の田園風景・季節の写真、野鳥や蛙の写真などが含まれます。このように、写真の対象としては、歴史的な旧跡は注目されず、愛西市各地の祭、花の名所に集中することがわかりました。



なお、蛇足となりますが、応募者の年齢は 70 歳以上が 60%、応募者の住所は愛西市内とその近隣市内の方が 74% と、世代や応募者の住所も多少偏っていたことも注記しておきます。

以上、愛西市の写真被写体対象となった風景は、昨年実施した ASK（愛西観光資源）総選挙の結果とも傾向については一致します。すなわち、昨年の ASK（愛西観光資源）総選挙で上位となった場所は、①木曾川（船頭平閘門、観光船、のどかな風景）、②佐屋路、③花蓮田、④勝幡城址、⑤道の駅「立田ふれあいの里」、⑥尾張津島天王祭市江車行事の順でした。

2018 年の「あいさいフェスティバル」愛西市観光名所展では、写真などの展示を見ていただきながら、再度みなさんに簡単な投票をお願いし、ASK（愛西観光資源）の魅力度を調査したいと思います。投票していただいた方には粗品を用意しておりますので是非ご参加下さい。